

企業分野火災保険に
ご加入いただいているお客さまへ



保険金額の 見直しをおすすめします!

近年、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によるサプライチェーンの混乱などを契機として、エネルギーや原材料の価格の上昇傾向が強まっています。
その影響で建築資材の価格も高騰し、建築価額の上昇の要因となっています。
また、消費税率についても2019年10月に8%から10%に引き上げられています。
これらの社会環境の変化に伴い、保険加入時から再調達価額が上昇し、保険金額の見直しが必要なケースがあります。

ご参考

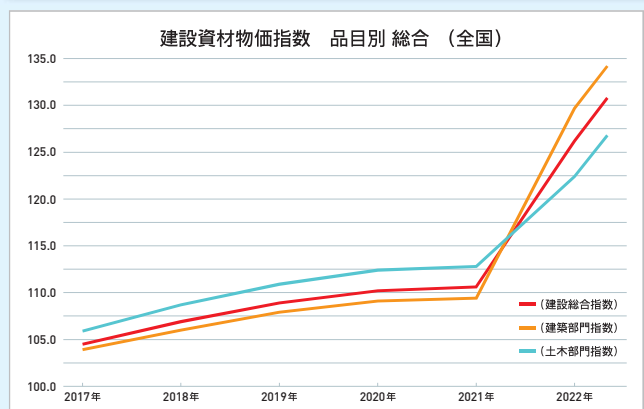
直近5年間の建物・機械設備の再調達
価額の最大値上り率

	保険の対象	最大値上り率
	建物(事務所)	15%
	建物(工場・倉庫)	18%
	機械設備	13%

※2022年7月時点 2017年～2022年データ

ご参考

建設資材物価指数グラフ



出典：一般財団法人 建設物価調査会

<https://www.kensetu-bukka.or.jp/indexgraph/shizai.html?city=1&type=1&year=2017>

社会環境の変化を踏まえ、適正な保険金額設定となっているかをご確認いただき、
必要に応じて保険金額の見直しをお願いします。



適正な保険金額の設定や見直しを行い、万が一の事故に備えましょう!



適正な保険金額でご加入いただいていない場合、
事故の際、損害額に対して保険金が不足する場合があります。



損害額に対して保険金が不足する例

保 険 種 類	企業総合補償保険
評 価 基 準	再調達価額（新価）
保 険 価 額 ^(※)	5 億円
保 険 金 額	3 億円
事故による損害額	1 億円 の場合

(※) 保険の対象を金銭的に評価した金額を指します。

保険金額が保険価額より低く設定されている場合は、次の算式によって算出した額を損害保険金として支払います。上記例の場合の損害保険金は次の通りとなります。

$$\text{損害額} \times \frac{\text{保険金額}}{\text{保険価額}} = \text{損害保険金の額}$$

$$1 \text{ 億円} \times \frac{3 \text{ 億円}}{5 \text{ 億円}} = 6,000 \text{ 万円 } (< 1 \text{ 億円})$$



**一部保険となり、支払保険金が比例払となるため
損害額 1 億円全額を保険金として受け取ることができません!!**

適正な保険金額の設定のために

現在のご契約内容が適正な保険金額の設定となっているかを確認するために、
ご提供いただきたい資料、情報は次の通りです。

1 固定資産台帳がある場合

固定資産台帳のご提出をお願いします。

2 固定資産台帳がない場合

次の情報のご提供をお願いします。

- 保険の対象（建物・機械・設備什器・商品）の建築価額、取得価額
- 保険の対象（建物・機械・設備什器・商品）の建築年月、取得年月



● 企業総合補償保険は、企業総合補償保険普通保険約款でお引受けする火災保険の商品名です。

● このご案内は、企業分野火災保険の保険金額の見直しの概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

なお、ご契約に際しては、必ず「普通保険約款および特約条項」、「重要事項等説明書」等をご確認ください。



損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1
〈連絡先〉 <https://www.sompo-japan.co.jp/contact/>

SOMPOグループの一員です。

お問い合わせ先 有限会社 C & N
代表取締役 溝渕 康城

〒530-0041
大阪市北区天神橋 2 丁目 2-14
グラン・コート南森町 302
TEL 06-6809-2221
FAX 06-6809-3211